

【小施策評価（令和4年度実績評価）】

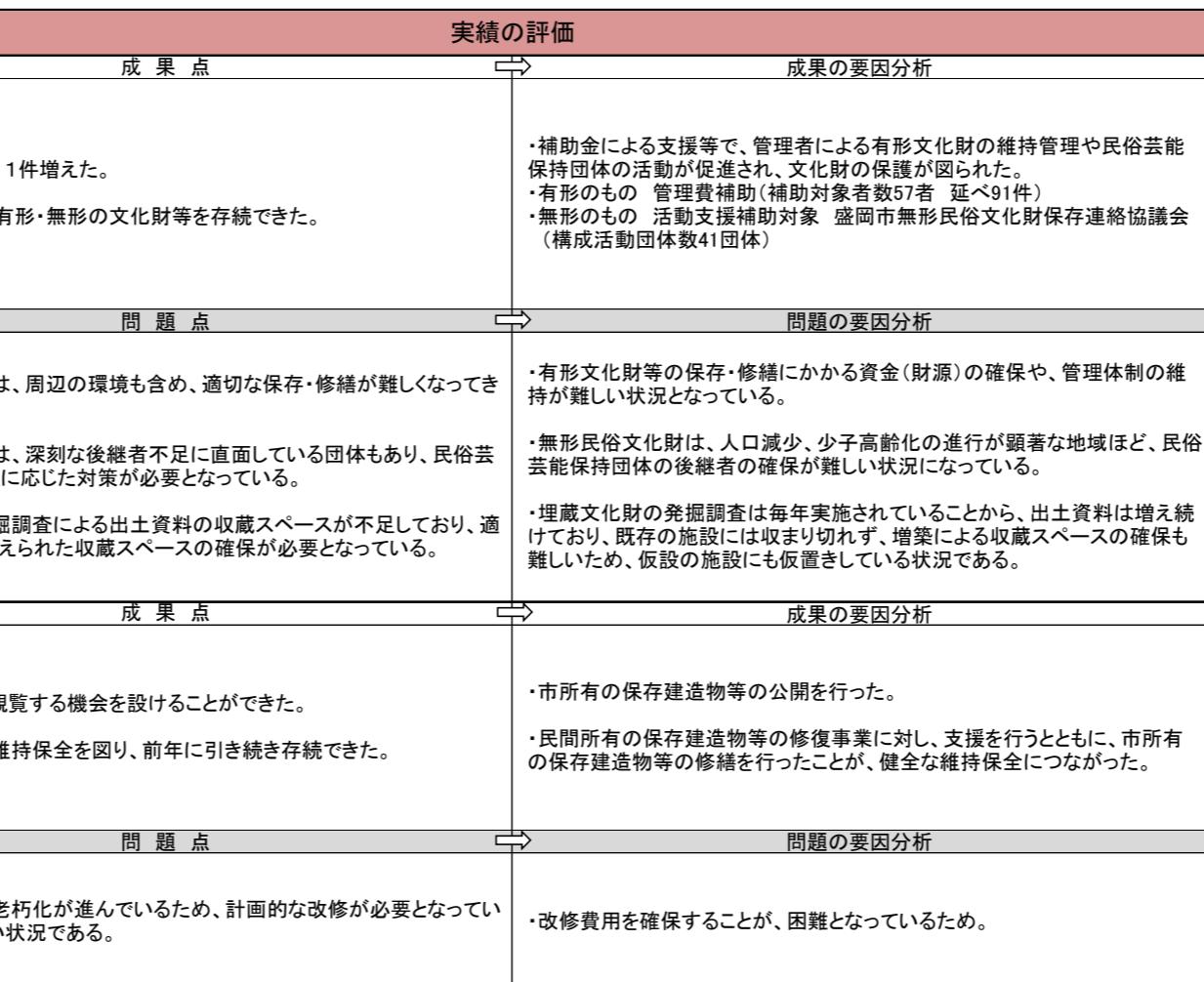
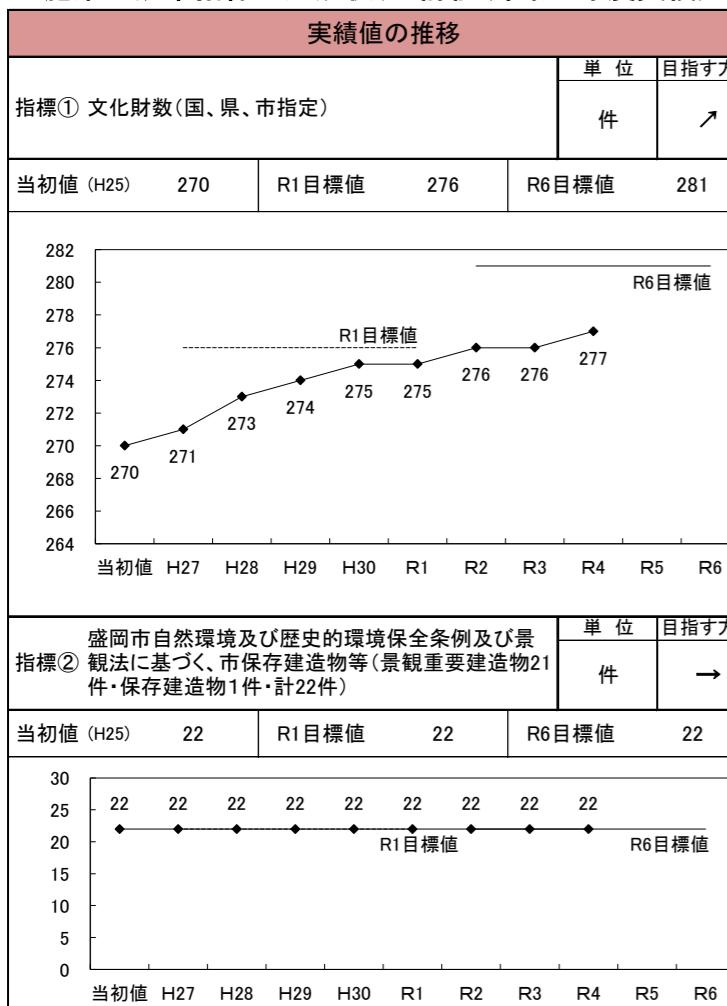
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	歴史文化課	
施策	11	歴史・文化の継承	評価 責任者	高橋 智巳	内線 7350
小施策	11-1	文化財の保護と活用	評価 シート 作成者	阿部 淳	内線 7351

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
<ul style="list-style-type: none"> 市内に所在する有形文化財や天然記念物などは、後世に引き継いでいくため、収集、記録保存及び周辺環境を含めた維持管理に努める必要がある。また、地域に受け継がれている有形民俗などの文化財については、市民の歴史学習や地域学習のほか、世代間交流やまちの活性化のため幅広い活用を図る必要がある。 無形民俗文化財は、伝承基盤が確立している保存団体がある一方で、深刻な後継者不足に直面している団体もあり、保存団体の特性に応じた対策が求められている。 遺跡などの埋蔵文化財については、各種の開発事業との調整を図るとともに、出土した埋蔵文化財の適切な管理や保存、調査を進め、その成果の公開に努める必要がある。 ・志波城跡や盛岡城跡などの史跡については、基礎調査や整備・活用を計画的に進める必要がある。 	文化財指定の有無にかかわらず、有形文化財や無形文化財、民俗文化財、記念物、埋蔵文化財などの保護を適切に進めるとともに、市民がより歴史や文化に興味を持てるよう、文化財の幅広い活用を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象＋成功状態)
市民	地域の貴重な文化財を知るとともに、次世代に伝えるようになる。
文化財	適切に保護される。

小施策の成果指標の達成状況・評価（令和4年度実績）



今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降の着手を検討
★ 有形文化財等の保存・修繕のため、町内会等地元住民への協力要請を行うとともに、必要に応じて、支援や助言を行うものとする。	
★ 盛岡市歴史的風致維持向上計画等に基づき、補助制度を活用しながら、文化財の保護と活用に取り組む。	
★ 民俗芸能保持団体の後継者不足について、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら支援策を講じる。また、民俗芸能を紹介するPR動画を活用し、YouTubeやSNS等により、踊りの魅力を全世界に向け発信するほか、盛岡市芸術文化ポータルサイトに団体やイベントの情報を掲載し、民俗芸能の周知を図る。	
★ 埋蔵文化財発掘調査に伴い、増え続ける出土資料について、保管に適した空き教室を利用するなど、収蔵場所の確保を図る。	
☆1 文化財保存活用地域計画の策定に向けて、未指定の文化財も含め、文化財をまちづくりに生かしつつ、地域社会との協働でその承継にどのように取り組むか等、協議・検討・調査を進める。	
☆2 通常の管理では維持が困難となっている指定文化財については、適切な保存や再生を目指した取組を進める必要がある。	
★ 改修事業に係る財源の確保のため、国の補助制度の活用を図る。	
★ 所有者に対し、改修補助制度の周知を図る。	

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

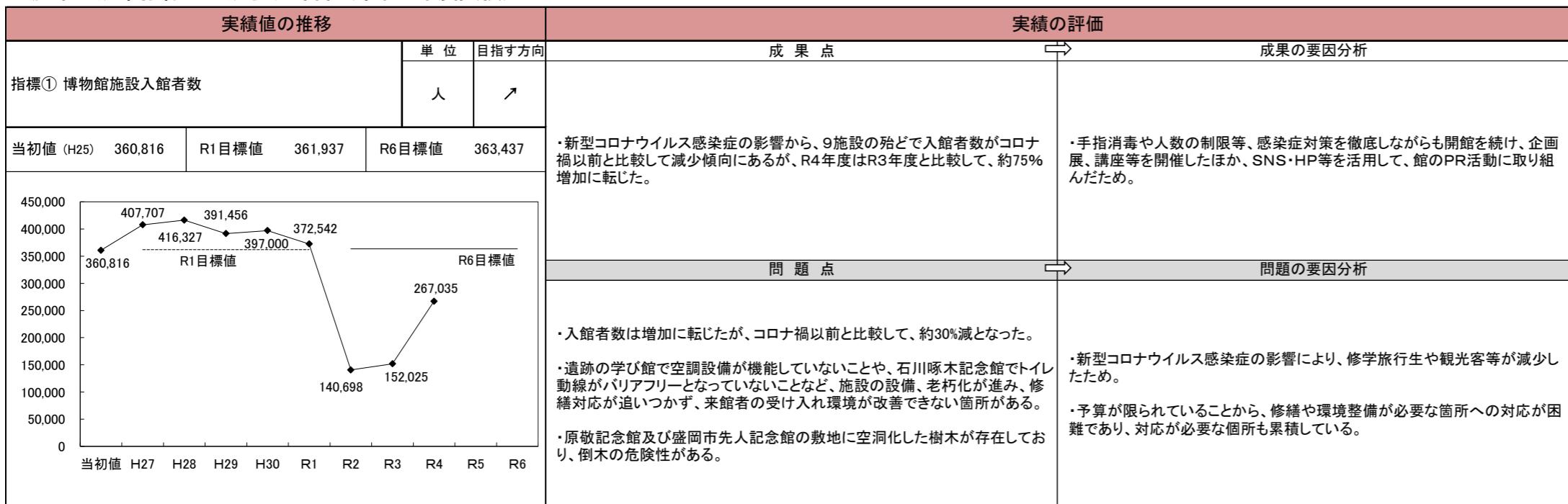
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	歴史文化課	
施策	11 歴史・文化の継承	評価責任者	高橋 智巳	内線 7350
小施策	11-2 博物館等施設の整備・充実	評価シート作成者	阿部 淳	内線 7351

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
博物館等施設は、その適切な管理運営と計画的な保全、整備に努める必要がある。	各施設の老朽化対策を進め、必要な施設整備を行う。また、各施設では、その施設の特色を生かした事業を開発し、市民へ学習機会を提供し、歴史や文化に対する理解が深まるような運営を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
市民等 博物館施設	地域の歴史や文化を知る。 魅力的で快適な施設環境になる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)



今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> 各種企画展をはじめ、魅力的で話題性を捉えたイベントの開催のほか、各施設の情報案内、広報の強化を図るとともに、施設外へ出向く「出前講座」の充実に取り組む。 学校と連携し、教育課程や子どもの校外活動のニーズを踏まえながら、利用促進を図る。 施設への誘客を促進するため、他のイベントなどの観光資源を活用するとともに、施設のサポーターの育成について検討を行う。 玉山歴史民俗資料館・石川啄木記念館の複合施設等の整備を進める。 施設や設備の修繕、樹木の剪定・伐採等については、優先順位を検討し、予算要求していく。 <p>☆1 「文化財保存活用地域計画」や「地域における文化観光の推進に関する法律」における地域計画等の策定に向け、博物館等施設での保存・活用のあり方を検討していく。</p> <p>☆2 博物館施設敷地に生育する空洞化した樹木について、施設と来館者の安全確保の観点から、適宜伐採を進める必要がある。</p> <p>☆3 志波城古代公園の復元建造物の腐朽が進行しており、施設によっては破損の恐れがあり、見学に支障をきたしているため、破損部分を特定しながら、危険箇所の除去や利活用に支障となる範囲の修復方法、計画を検討する必要がある。</p> <p>☆4 博物館等施設の修繕や改修、展示施設の更新等に係る財源として、国の財政的な支援制度のほか、ふるさと納税やクラウドファンディングの制度等の活用について検討を行う。</p>	

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	文化国際課	
施策	12 芸術文化の振興	評価責任者	斎藤 克幸	内線 3710
小施策	12-1 芸術・文化活動の充実	評価シート作成者	佐々木 努	内線 3711

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
<p>市民の価値観が多様化していることから、コンサートや演劇、美術展などの芸術鑑賞事業や各種講座など、芸術文化に親しむ機会を提供する事業については、市民ニーズの把握に努めるとともに、それぞれの文化会館の特色を生かしながら、魅力ある事業展開を図る必要があります。</p> <p>芸術文化活動の振興を図るために、活動発表の機会を設けているほか、優れた公演や事業などに対して共催や後援を行い支援しているが、市民の自主的な活動を促進するため、更に効果的な支援、育成に取り組む必要があります。</p>	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、市民自らが表現する場や芸術団体が相互に交流する場の創設と芸術文化団体の活動を支援する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
市民、芸術・文化に関わる人・団体	芸術・文化活動に参加できる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移				実績の評価				今後の方向性(令和5年度以降)	
								評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降の着手を検討
指標① 芸術文化事業鑑賞者数	単位	人	目指す方向	成 果 点	問題 点	成 果 の 要因分析	問題の要因分析	★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業を推進する。	★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度毎の重点的な取組内容を定め実施する。
当初値(H25) 28,372	R1目標値	29,500	R6目標値 31,000	鑑賞者数はコロナ禍前の令和元年度実績(37,634人)に迫る人数となり、多くの方が芸術文化事業を鑑賞する機会を持つことができた。	新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の制限は緩和されているが、芸術文化事業の鑑賞者数が総じて上向いているという状況には至つておらず、事業によっては鑑賞者数が少ない状態が続いている。	・新型コロナウイルス感染症の影響により鑑賞者数が落ち込んでいたが、昨年度に引き続き主催者、施設管理者の双方で感染対策を講じながら事業を実施したことや、感染対策が社会生活の中に一定程度浸透してきたことにより、一定程度の方に鑑賞いただくことができた。なお、4年度は集客力の大きい催事(MINIATURE LIFE展2～田中達也、見立ての世界～：来場者数23,769人)があったことも、鑑賞者数を押し上げる要因となっている。	・新型コロナウイルス感染症への感染に対する不安から、特に人が集まる芸術文化事業の鑑賞について控えている方も依然としているものと考えられる。・数年にわたり芸術文化事業の中止や規模縮小が続いた影響で、市民生活の中で芸術文化事業を鑑賞したいという動機を持つきっかけが少なくなっていることが考えられる。	★ 次期芸術文化推進計画の策定に向け、関係者との意見交換などを通じ芸術文化団体等のニーズ把握に向けた取り組みを進める。	★ 国の芸術文化推進基本計画(第二期)の内容等も踏まえた芸術文化鑑賞事業の方向性等について検討し、市の次期芸術文化推進計画へ反映させる。
指標② 文化会館活動参加者数	単位	人	目指す方向	成 果 点	問題 点	成 果 の 要因分析	問題の要因分析	★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業を推進する。	★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度毎の重点的な取組内容を定め実施する。
当初値(H25) 10,741	R1目標値	10,900	R6目標値 11,800	参加者数は昨年度の1.45倍となり、より多くの方が文化会館での活動に参加することができた。	新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の制限は緩和されているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度の参加者数の水準までは戻っておらず、以前に比べて市民が文化会館の活動に参加する機会は少なくなっているまである。	・芸術文化事業の実施に当たって、事業者や施設が感染症対策を講じるとともにその周知に努めたことや、感染対策が社会生活の中に一定程度浸透してきたこと、コロナ禍においても実施可能となるよう事業を構成したことなどによって、参加者数が多くなったものと考えられる。	・文化会館での活動は1回あたりの活動の参加人数を減らすなど感染対策を講じながら実施しているものもあり、同じ事業を実施していたとしても参加機会は以前より減少していると考えられる。・新型コロナウイルス感染症への感染に対する不安から、依然として活動への参加を控えている方もいるものと考えられる。	★ 次期芸術文化推進計画の策定に向け、関係者との意見交換などを通じ芸術文化団体等のニーズ把握に向けた取り組みを進める。	★ 国の芸術文化推進基本計画(第二期)の内容等も踏まえ、文化会館での芸術文化活動の方向性等について検討し、市の次期芸術文化推進計画へ反映させる。
指標③ 盛岡芸術祭参加者数	単位	団体	目指す方向	成 果 点	問題 点	成 果 の 要因分析	問題の要因分析	★ 引き続き、盛岡芸術協会と実施内容を協議しつつ、市民へのPRなど芸術祭の周知を図り、多くの市民の参加を促していく。	
当初値(H25) 11,453	R1目標値	11,500	R6目標値 12,000	昨年よりも多くの方が参加することができた。	徐々に参加人数は増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度の参加者数の水準までは戻っておらず、以前に比べて盛岡芸術祭に参加する市民が少なくなっている。	新型コロナウイルス感染症の影響による参加者の落ち込みが大きかったが、感染対策が社会生活の中に一定程度浸透してきたことなどから、参加者数も増加したものと考えられる。	・各部門で参加人数を減らすなど、感染対策を講じながら実施しており、参加機会が以前より減少していると考えられる。・新型コロナウイルス感染症への感染に対する不安から、依然として参加を控えている方もいるものと考えられる。		

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

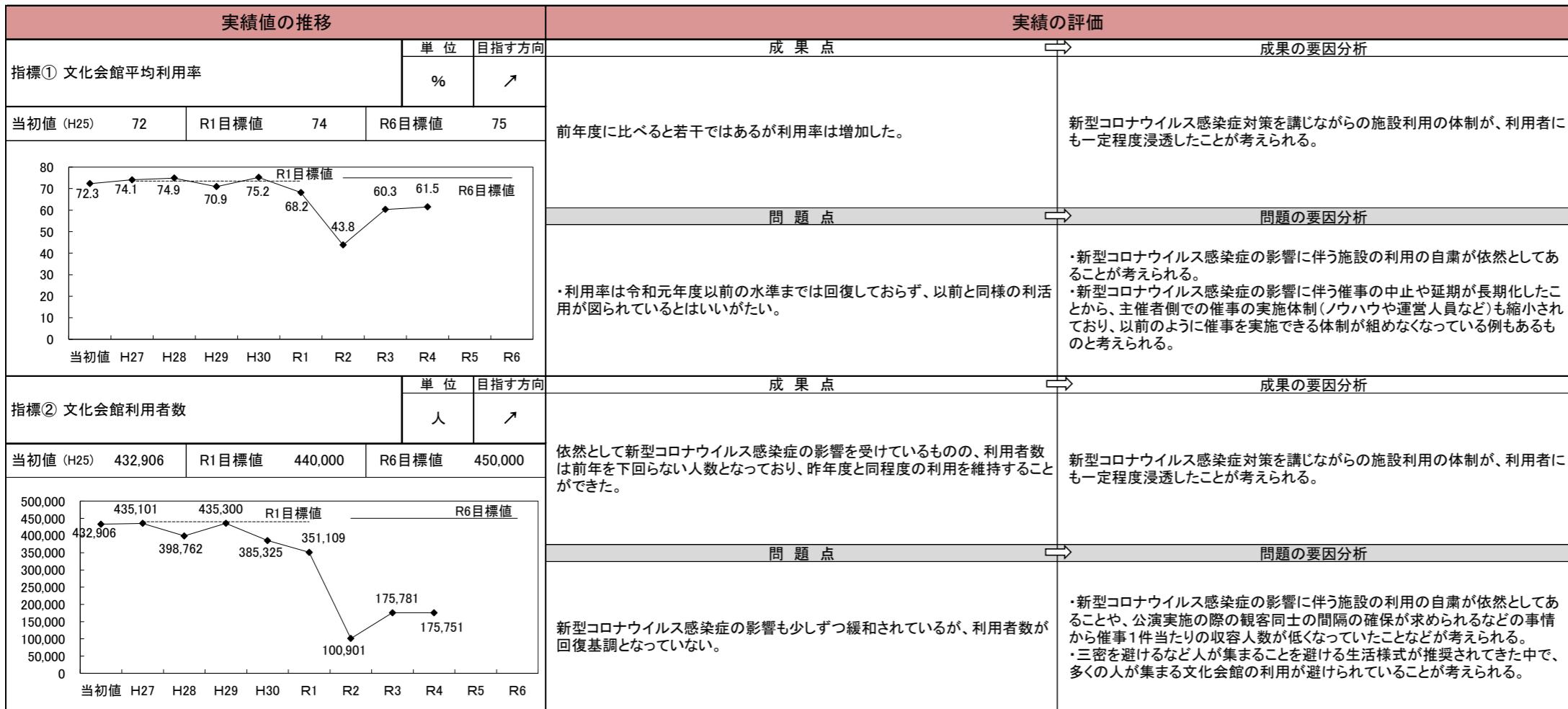
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	文化国際課	
施策	12 芸術文化の振興	評価責任者	斎藤 克幸	内線 3710
小施策	12-2 文化施設の整備と活用	評価シート作成者	佐々木 努	内線 3711

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	→	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
文化会館は各施設とも建設から20年以上経過しており、設備も老朽化してきていることから、安全・快適で機能的な活動環境の提供に当たっては、適正な管理運営と計画的な施設設備の修繕や更新に努める必要があります。また、寄贈を受けた多数の市所蔵美術品の管理や有効活用を図る必要があります。		文化施設利用者へのサービス向上のため、計画的に設備の更新、修繕を実施します。また、市民の自主的・創造的な芸術文化活動が活発に行われるよう、文化施設の活用を図ります。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	→	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
芸術文化施設		芸術文化活動の場として、より活用が促される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)



今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降の着手を検討
★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づき事業を推進する。	
★ 盛岡市芸術文化推進計画に基づく効果的な事業展開について、指定管理者、芸術文化関係者等との意見交換を行い、年度毎の重点的な取組内容を定め実施する。	
★ 文化会館の利用促進に向けた催事の充実など具体的な方策について、指定管理者等と協議し実施する。	
★ 芸術文化推進計画及び実施計画に基づき、計画的な修繕を実施するため、ネーミングライツや広告収入を活用した財源確保について検討を進める。	

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

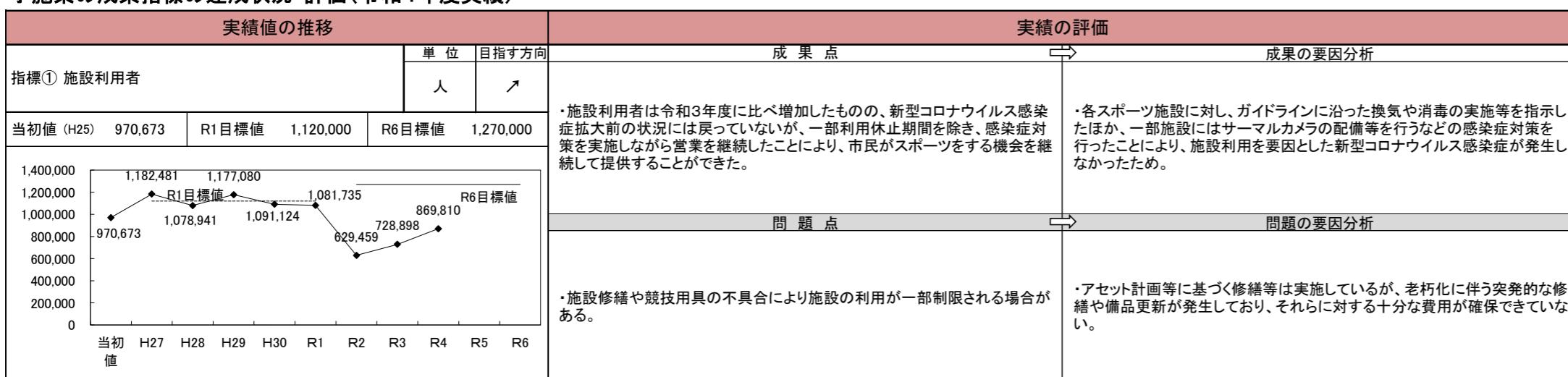
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	スポーツ推進課	
施策	13 スポーツの推進	評価責任者	箱石 元	内線 3770
小施策	13-2 スポーツ施設の整備充実	評価シート作成者	佐藤 教行	内線 3771

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	→	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市民がスポーツを継続するためには、スポーツ施設を適正に配置するほか、効果的・効率的運営と施設の充実を図る必要がある。		市民ニーズに対応した新たな施設の整備や老朽化やユニバーサルデザインに対応する改修など、アセットマネジメントの考え方を踏まえながら、適切なスポーツ施設の配置及び整備・改修を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	→	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
市民 スポーツ・レクリエーション施設		場(施設)が提供される。 適切に配置され、充実した機能を備えている。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)



今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降着手を検討
★ 施設利用者向上につながる自主事業の拡大を指定管理者に要請する。	
★ 公共施設保有最適化・長寿命化計画を着実に推進する。	
★ 施設の維持管理に係る費用の確保策を検討する。	
★ 施設の価値向上に寄与する施設の整備や備品の購入等により、県外を含めた利用者の増加に繋げる。	
★1 新体育館の早期供用開始に努め、施設利用を推進する。	

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	スポーツ推進課	
施策	13 スポーツの推進	評価責任者	箱石 元	内線 3770
小施策	13-3 スポーツ団体等との連携強化	評価シート作成者	佐藤 教行	内線 3771

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
スポーツ大会などの企画運営や競技力向上のためには、指導にあたる組織や人材が必要となるため、スポーツを支えるための組織・人材などとの連携を強化する必要がある。	市民へのスポーツの普及・定着化と競技力の向上を目指すため、広域市町・関係機関・団体などとの連携を強化する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象＋成功状態)
スポーツ団体等	団体の役割を明確にし、市民のスポーツ活動が活発に展開される環境を作る。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移			実績の評価		
指標① 市が共催・後援する事業の数		単位	目指す方向	成 果 点	成 果 の 要因分析
当初値 (H25)	193	R1目標値	240	R6目標値	290
当期実績	219	当期実績	222	当期実績	201
初期目標	195	初期目標	220	初期目標	194
最終目標	199	最終目標	201	最終目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
最終目標	195	最終目標	222	最終目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標	201	初期目標	194
初期目標	193	初期目標	219	初期目標	201
初期目標	195	初期目標	222	初期目標	194
初期目標	199	初期目標			

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

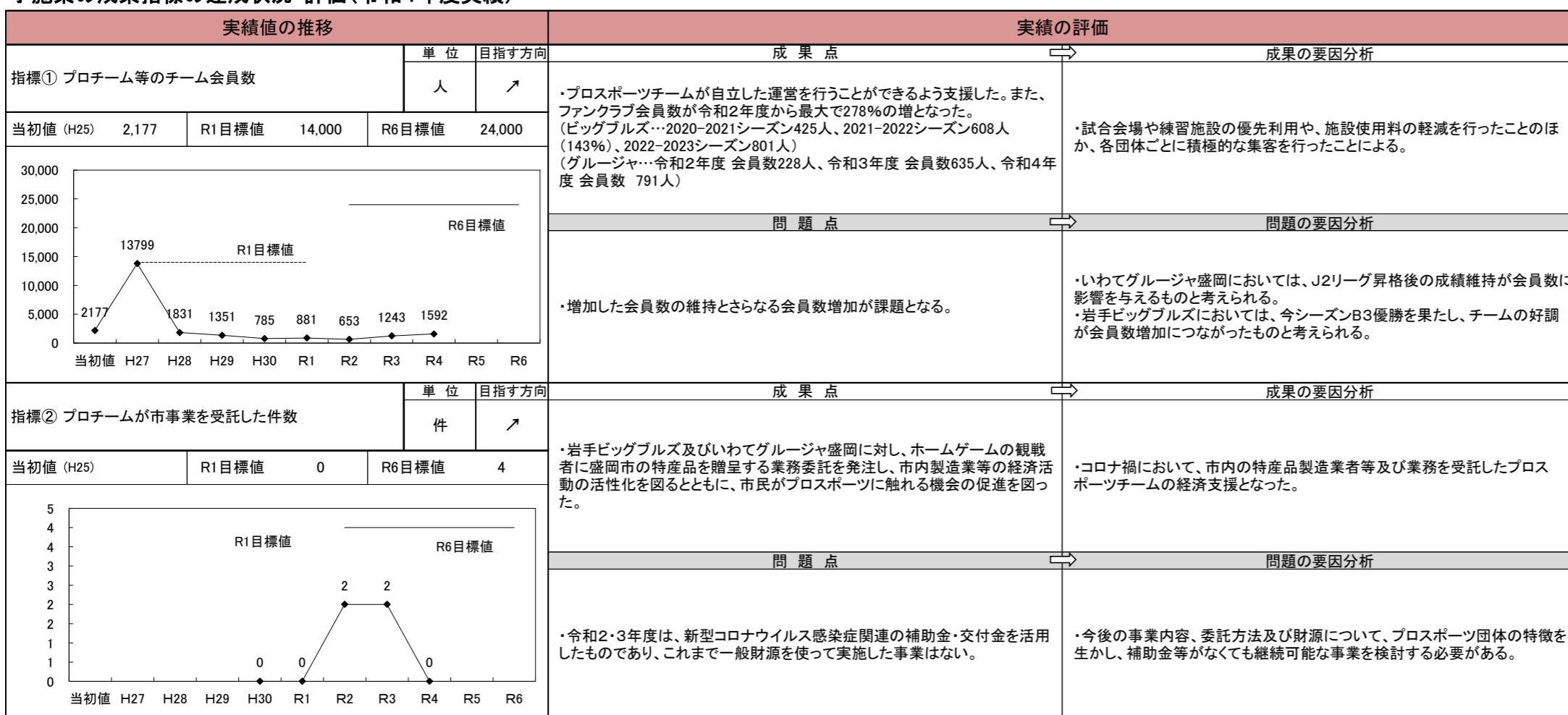
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	スポーツ推進課	
施策	13 スポーツの推進	評価責任者	箱石 元	内線 3770
小施策	13-4 プロスポーツ等との連携	評価シート作成者	佐藤 教行	内線 3771

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	→	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
本市をホームタウンとするプロスポーツのチームの活躍は、まちの活性化、スポーツ人口の拡大など、さまざまな効果が期待できるため、市民の関心を高めるさまざまな施策を講じる必要がある。		市民のスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを通じた地域活性化を目指して、プロやプロを目指すチームとの連携を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	→	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
市民 プロスポーツ団体等		スポーツへの関心が高まる。 優勝するなど、市民のスポーツへの関心が高まるような成績を残す。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)



今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ プロスポーツチームのファンを増やし、多くの市民がチームを応援する機運を醸成する。 ★ ホームゲームの開催支援や練習環境の確保等により、プロチームの運営支援を行う。 ★ 広報活動による支援。 	☆1 プロスポーツ団体だからこそ実施可能な市のスポーツ推進事業を企画する。

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	スポーツ推進課	
施策	13 スポーツの推進	評価責任者	箱石 元	内線 3770
小施策	13-5 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産の継承	評価シート作成者	佐藤 教行	内線 3771

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	→	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の遺産(レガシー)を未来に引き継ぎ、東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウン事業の成果を生かし、関係団体と連携・協力して交流人口の拡大とまちの魅力発信に取り組んでいく必要がある。		スポーツによる交流人口の拡大、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組、広域的な地域スポーツの推進に取り組み、「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」によりもたらされた有形・無形の様々な遺産(レガシー)を確実に未来に引き継ぐ。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	→	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
市民 県内外のスポーツ競技団体		スポーツへの興味、関心を持ち、「見る」「見る」「支える」形で参加する。 スポーツツーリズムとして本市に興味を持ち、国際大会、全国大会を開催する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移				実績の評価			
指標① 事前合宿・全国大会受け入れ数		単位	目指す方向	成 果 点		成 果 の 要因分析	
当初値 (H25)	R1目標値	種目	→	R1	R2	R3	R4
0	3			3	3	4	3
5 4 3 2 1 0	0 0 1 3 3 4 4	0 0 1 3 3 4 4	→	0 0 1 3 3 4 4	0 0 1 3 3 4 4	0 0 1 3 3 4 4	0 0 1 3 3 4 4
当 初 値 H27	R1目標値 H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4

■実績値の推移

期間	実績値
H27	0
H28	0
H29	0
H30	1
R1	3
R2	1
R3	4
R4	1
R6	3

今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降の着手を検討
	★国際大会や全国大会など、メガスポーツイベントの誘致により交流人口の拡大と競技力の向上につなげる。
	★スポーツクライミングの大会を誘致するため、日本山岳・スポーツクライミング協会を訪問し誘致活動を行う。
	★2024年に開催される世界パラ陸上に向けて、事前合宿の受け入れを行う方向で検討・調整を行う。

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

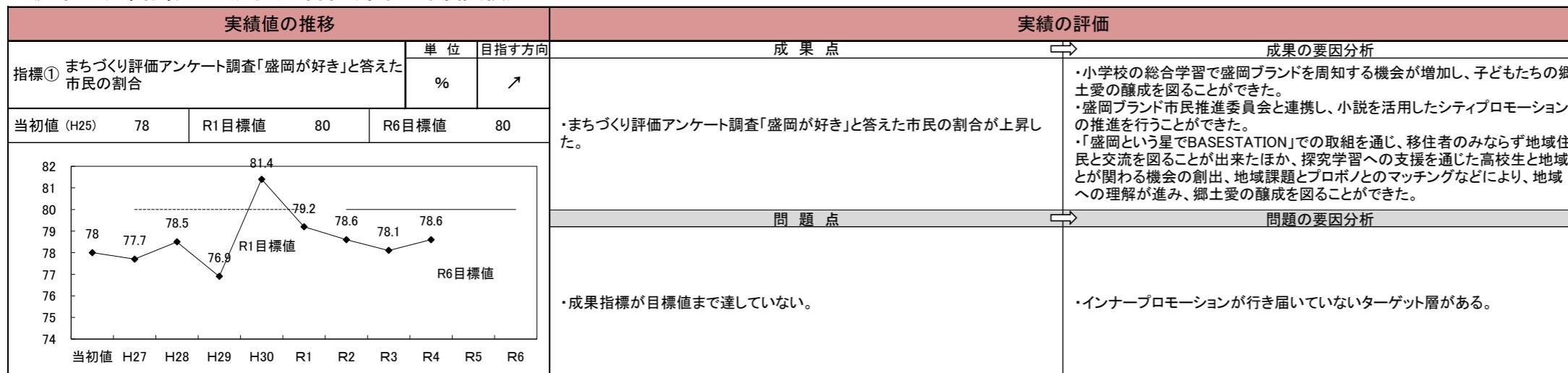
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	都市戦略室
施策	14 「盛岡ブランド」の展開	評価責任者	吉田 央 内線 3805
小施策	14-1 市民・事業者との意識共有	評価シート作成者	清水 友博 内線 3868

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
盛岡らしい有形・無形の価値や魅力を「盛岡ブランド」として整理・体系化し、発信してきましたが、市民や事業者への浸透が十分ではなく、盛岡ブランドをよく理解してもらう必要がある。	市民や事業者に盛岡ブランドをよく理解してもらい、意識共有を図るための取組を充実・強化することにより、市民一人ひとりが盛岡に対する誇りや愛着を抱くシビックプライド*2の醸成を図ります。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
市民 市民以外の人	盛岡への誇りや愛着を抱いてもらう。 盛岡を知り、興味・関心を持ち、好きになってもらう。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)



今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 新たに策定した「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき、市内住民に向けたインナープロモーションを行うための手法の検討・構築を行う。 ★ 子どもたちに向けた郷土愛の醸成を図るために、小学校との連携を継続的に行えるよう、関係の構築に努める。 ★ ターゲット層を分けた戦略的なプロモーションを行う。 <p>☆1 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき検討したプロモーションを実践する。</p>	

【小施策評価（令和4年度実績評価）】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	都市戦略室	
施策	14	「盛岡ブランド」の展開	評価 責任者	吉田 央	内線 3805
小施策	14-2	情報発信の強化	評価 シート 作成者	清水 友博	内線 3868

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
盛岡市の認知度は、民間シンクタンクの調査によると、決して高くはなく、首都圏や関西以西において認知度を向上させる余地があることから、特産品やイベントなどの魅力を生かしながら、全国に向けて情報発信を効果的に行う必要がある。	発信に当たっては、シティプロモーション＊3の視点から、マーケティング手法を用いて情報の受け手を選択し、ソーシャルメディア等の新たな広報・情報媒体の積極的な活用を図るほか、転出者や首都圏等に在住する盛岡出身者等、盛岡に関わりがある人をキーパーソンとする、人ととの繋がりによる盛岡の魅力の発信に取り組みます。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象＋成功状態)
市民 市民以外の人	盛岡への誇りや愛着を抱いてもらう 盛岡を知り、興味・関心を持ち、好きなってもらう

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移						実績の評価						評価を踏まえた取組の方向性							
指標① 地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」			単位	目指す方向	成 果 点			成 果 の 要 因 分 析			★ R5年度着手済または着手予定								
当初値 (H25)	58	R1目標値	50	R6目標値	50	位	↗												
0	20	40	60	80	100	120	140	58	63	117	62	90	46	67	101	133	R1目標値	R6目標値	当 初 值 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6
						<p>・地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」が上昇した。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・各事業担当者と講師との情報交換を個別に行うことで、事業の課題等を共有し、横の連携を図ることが出来た。 ・盛岡ブランド市民推進委員会と連携し、小説を活用したシティプロモーションの推進を行うことができた。 ・地元産の食材や地域産品、地域産業（企業）などの地域資源に関する評価が上がっており、訴求する相手方（ターゲット）を設定したことでの効果的な訴求につながった。 ・関係人口を機軸とした移住・定住・交流人口対策事業の一連の取組を「盛岡という星で」プロジェクトとして一貫性を持たせたことにより、効果的な発信につながった。 			★ 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき、市外住民に向けた効果的なプロモーションを行うためにマーケティング及び戦略的プロモーションの府内への定着を図る。							
<p>指標② 観光客入込数</p>						単位	目指す方向	<p>成 果 点</p>			<p>成 果 の 要 因 分 析</p>			★ R5年度着手済または着手予定					
当初値 (H25)	472	R1目標値	500	R6目標値	520	万人回	↗							☆ R6年度以降の着手を検討					
0	100	200	300	400	500	600	500	472	509	500	500	508	519	324	310	318	R1目標値	R6目標値	当 初 値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6
						<p>・盛岡ブランド市民推進委員会と連携し、鉢屋町をメインとした小説を活用したシティプロモーションを推進することで盛岡の魅力の再確認と情報発信ができた。</p> <p>・東京で盛岡を体感できるイベントを開催したほか、「盛岡という星でBASE STATION」でのイベントを通じ盛岡の魅力を発信できた。</p> <p>・「盛岡地区かわまちづくり」が令和4年度かわまち大賞を受賞した。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトを通じ、学生や今まで来た事がなかった市民等が鉢屋町へ訪れ町家やホームズパンなど盛岡の魅力に触れることができた。 ・民間事業者などと連携し、ターゲットを明確にしたプロモーションの方向性を構築したうえで事業を実施した。 ・出版社の編集長などが指導者となったワークショップを行い市民の発信力強化を図った。 ・北上川沿川の木伏緑地や八幡町・大慈寺・鉢屋町界隈の各種イベントと連携し、北上川フェスティンMORIOKAが開催された。 ・地元団体、国土交通省、市が構成団体となった舟運実行委員会により舟運実現に向けた取り組みの強化が図られた。 			★ 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき、市外住民に向けた効果的なプロモーションを行うためにマーケティング及び戦略的プロモーションの府内への定着を図る。							
<p>指標③ 地域資源の活用による観光客の増加</p>						単位	目指す方向	<p>成 果 点</p>			<p>成 果 の 要 因 分 析</p>			★ 訴求する相手方(ターゲット)の設定やmターゲットに適した情報発信手法など、マーケティング手法を用いながら効果的なプロモーションを実施する。					
当初値 (H25)	1,000	R1目標値	1,000	R6目標値	1,000	人回	↗							★ 新型コロナウイルスの影響による地方への移住ニーズの高まりに対応するため、移住定住・交流人口対策事務局を設置し、部局横断的な移住等支援体制の強化を図る。					
0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	R1目標値	R6目標値	当 初 値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6
						<p>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、メインターゲットである東京圏からの来訪者数を増やすことが出来なかった。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの活用等を図ったものの、県外への移動が制限された影響を受けた。 ・舟運運航による河川空間における新たな観光資源としてのPRの強化が必要。 ・定期運航に向けて、船着き場の運営や船長の確保など組織強化や、河川管理者等関係機関との連携した取組の強化が必要。 			★ 地元の高校生や大学生が地域課題を知る機会などを提供する。							
<p>指標④ 地域資源の活用による観光客の増加</p>						単位	目指す方向	<p>成 果 点</p>			<p>成 果 の 要 因 分 析</p>			★ 中心市街地に関係人口交流拠点「盛岡という星で BASE STATION」を整備し、官民連携により上記の取組を推進する。					
当初値 (H25)	1,000	R1目標値	1,000	R6目標値	1,000	人回	↗							★ 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき、市外住民に向けた効果的なプロモーションを行ったためにマーケティング及び戦略的プロモーションの府内への定着を図る。					
0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	R1目標値	R6目標値	当 初 値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6
						<p>・オンラインの活用等を図ったものの、県外への移動が制限された影響を受けた。</p> <p>・舟運運航による河川空間における新たな観光資源としてのPRの強化が必要。</p> <p>・定期運航に向けて、船着き場の運営や船長の確保など組織強化や、河川管理者等関係機関との連携した取組の強化が必要。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインなどを活用しながら、東京圏の移住希望者と交流を図り、関係人口交流拠点を活用した受け入れ態勢を整える。 			★ オンラインなどを活用しながら、東京圏の移住希望者と交流を図り、関係人口交流拠点を活用した受け入れ態勢を整える。							
<p>指標⑤ 地域資源の活用による観光客の増加</p>						単位	目指す方向	<p>成 果 点</p>			<p>成 果 の 要 因 分 析</p>			☆ 「盛岡市シティプロモーション指針及び推進計画」に基づき市外に向けたプロモーションの効果を高めるため、マーケティング手法を取り入れ、全庁的な視点で連携した情報発信を実践する。					
当初値 (H25)	1,000	R1目標値	1,000	R6目標値	1,000	人回	↗							★ 継続的な運航が可能となるよう運航主体となる舟っこ会の組織強化を図る。					
0	100	200	300	400	500	600	700	800	900	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	R1目標値	R6目標値	当 初 値 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4 R5 R6
						<p>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、メインターゲットである東京圏からの来訪者数を増やすことが出来なかった。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの活用等を図ったものの、県外への移動が制限された影響を受けた。 ・舟運運航による河川空間における新たな観光資源としてのPRの強化が必要。 ・定期運航に向けて、船着き場の運営や船長の確保など組織強化や、河川管理者等関係機関との連携した取組の強化が必要。 			★ 沿川地域資源との連携による賑わい創出を図る。							

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	景観政策課
施策	15	良好な景観の形成	評価責任者	三橋 一仁 内線 7290
小施策	15-1	景観保存対策の充実	評価シート作成者	佐藤 秀 内線 7295

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
・盛岡らしい都市景観形成の実現のため、各地域の景観特性が生かされた景観形成を図る必要があります。 ・盛岡固有の佇まいを残す盛岡町家などの歴史的景観を保全・継承する必要があります。 ・優れた自然環境と歴史的環境とが調和する個性豊かな都市環境を次世代に継承していく必要があります。	・景観計画に基づき、地域の特徴を生かした景観形成促進地区などの指定を行うとともに、優れた景観や建造物などの保全・活用について、市民との協働による取組を進め、景観に配慮した快適で美しく活気ある街並み形成を進めます。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象＋成功状態)
街並み、山並み 市民・建築関係者	優れた景観が守られる。 景観に対する意識が高まる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移				実績の評価				評価を踏まえた取組の方向性	
指標① まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合		単位	目指す方向	成 果 点		成 果 の 要 因 分 析			
当初値 (H25)	R1目標値	R1目標値	R6目標値	%	↗	問題点	問題の要因分析		
指標① まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	70	R1目標値	75	R6目標値	79	・まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合が当初値より増加している。 ・景観重要建造物に係る維持保全の必要性について、市民等の意識を高めた。 ・市街地の豊かな歴史的環境が維持・保全された。	・市所有の景観重要建造物を公開することにより、広く市民等に景観重要建造物を観覧する機会を設けた。 ・民間所有の景観重要建造物の改修支援制度を継続するとともに、市所有の景観重要建造物の修繕等を行ったことが、景観重要建造物の健全な維持管理保全につながった。 ・景観重要樹木の樹勢診断を行い、樹木の状態の把握により、良好な維持管理保全につながった。 ・景観計画区域内行為届出等制度により、形態・意匠・色彩等が制限されており、良好な景観が保たれている。	→	★景観重要建造物の公開により景観意識の向上を図る。 ★景観重要建造物等の改修事業に係る財源の拡充のため、国の補助制度の活用を図る。 ★景観重要建造物等の改修補助や歴史的町並み修景補助の制度等の周知を図る。 ★景観重要建造物、景観重要樹木等の維持保全を図る。
指標② まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園・丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	60	R1目標値	69	R6目標値	79	・市所有の景観重要建造物等の公開により景観意識の向上を図っているが、老朽化が進み、計画的な改善が必要となっている。 ・身近に誇れる景観があることに気付いていないと考えられる。	・景観関係業務・事業等を継続して実施しており、概ね良好な市街地の景観が保全されているものの、他部署との連携による更なる推進が必要である。 ・景観重要樹木について、より一層の樹勢診断等の活用を図り、危険樹木の早期把握など維持保全に努める必要がある。 ・歴史的町並み整備事業の周知を図り、鈎屋町の歴史的街並みの修景を進める必要がある。 ・市所有の景観重要建造物の維持保全のため、計画的な改修を図る必要がある。	→	★小施策15-2「良好な景観形成の誘導」の事業と連携し、都市景観シンポジウム等で良好な景観の周知や各種補助事業の周知を図る。
指標③ まちづくり評価アンケート調査「誇れる山地の景観があると思う」と答えた市民の割合	70	R1目標値	75	R6目標値	79	・まちづくり評価アンケート調査「誇れる山地の景観があると思う」と答えた市民の割合が昨年より微減しているが、当初値より増加している。 ・良好な景観が維持・保全された。	・田園や丘陵地は、新たな建造物等が建設されることが抑制される地域であり、建設可能な新たな建造物等が建設される際においては、景観に配慮した形態・意匠・色彩とするよう誘導することにより、のびやかで美しい周辺の自然と調和した佇まいの維持・向上が図られた。 ・都市景観シンポジウムのパネルディスカッションにて、田園・丘陵地の自然景観の良さについて周知がなされた。	→	★小施策15-2「良好な景観形成の誘導」の事業と連携し、都市景観シンポジウム等で良好な景観の周知や各種補助事業の周知を図る。
指標④ まちづくり評価アンケート調査「誇れる山地の景観があると思う」と答えた市民の割合	70	R1目標値	75	R6目標値	79	・特になし。	・景観関係業務・事業等を継続して実施しており、良好な田園・丘陵地が保全されている。	→	★小施策15-2「良好な景観形成の誘導」の事業と連携し、都市景観シンポジウム等で良好な景観の周知や各種補助事業の周知を図る。

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

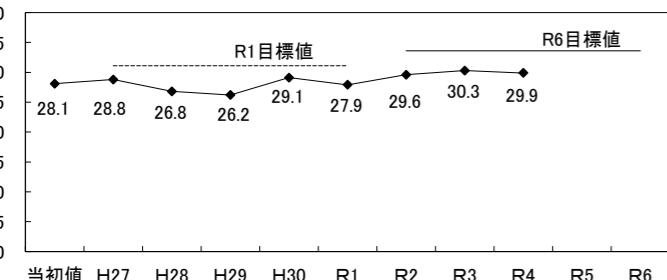
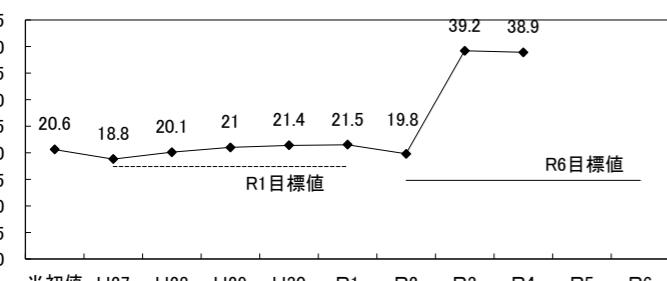
小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	景観政策課
施策	15 良好的な景観の形成	評価責任者	三橋 一仁 内線 7290
小施策	15-2 良好的な景観形成の誘導	評価シート作成者	佐藤 秀 内線 7295

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の目標を実現するために、景観計画の内容や景観法に基づく届出制度等について、引き続き、広く市民や事業者等に周知していくほか、景観に関する意識の高揚を図る必要があります。 ・景観への影響が大きい屋外広告物の適正化のために、許可制度などの周知・啓発を推進する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで取り組んできた景観施策の実績を踏まえ、次世代に継承できる「美しいまち盛岡」を実現するため、更なる景観施策の充実と向上を図り、良好な景観の形成を推進します。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
<p>街並み、山並み 市民・建築関係者</p>	<p>優れた景観が守られる。 景観に対する意識が高まる。</p>

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移			実績の評価		
指標① 表示・設置されているはり紙や看板など)は、景観に配慮されていると思うと答えた市民の割合	単位	目指す方向	成 果 点	成 果 の 要因分析	
			%	↗	
当初値 (H25) 28	R1目標値	31	R6目標値	34	
					
指標② まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について、改善したい景観があると思う」と答えた市民の割合	単位	目指す方向	成 果 点	成 果 の 要因分析	
当初値 (H25) 21	R1目標値	17	R6目標値	15	
					

今後の方向性(令和5年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降着手を検討
★屋外広告物の制度に関する周知・啓発及び適正化に係る行動計画を策定し、重点指導事項を中心に、効率的に取り組む。 ★官民が連携する啓発イベントを継続して行い、屋外広告物制度について周知を図る。	
★都市景観シンポジウムの開催等で良好な景観の周知を行い、景観への市民の意識高揚を図る。 ★関係団体と連携し、各種補助事業の周知を行い景観関連事業の推進を図る。 ★都市景観シンポジウムのテーマや出演者は、市民が興味を持つ内容になるよう検討する。 ★都市景観賞受賞作品写真パネル展の開催場所の追加検討を行う。 ★歴史的な施設の有効活用の事例調査や関連団体との情報共有を行う。	

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策主管課等	都市計画課
施策	16 計画的な土地利用の推進	評価責任者	齋藤 剛 内線 7210
小施策	16-1 土地利用に関する計画の策定・見直し	評価シート作成者	佐藤 博 内線 7211

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	→	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
・持続可能な土地利用を推進するため、国土利用計画盛岡市計画を踏まえ、総合的で計画的な市土の利用を継続する必要がある。 ・都市計画(土地利用、道路、公園、下水道、市街地開発事業等)については、都市計画マスタープランに即して、諸施策を総合的かつ体系的に展開していく必要がある。 ・無秩序な市街地の拡大を防ぎ、計画的なまちづくりを進める必要があるため、区域区分及び地域地区の見直しに取り組んでいく必要がある。		藩政時代から形成された既成市街地の充実と新市街地の形成による機能的で活力あるコンパクトなまちづくりを推進するとともに、これら市街地を取り囲む農用地や森林を生産機能の場として、また、豊かな自然景観や水源涵養資源として、保全・活用するよう、総合的で計画的な土地利用を進める。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	→	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象+成功状態)
都市計画区域、農用地区域、森林区域		計画的に土地利用される。 市街化区域についてはコンパクトなまちが形成される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移				実績の評価				評価を踏まえた取組の方向性 ★…R5年度着手済または着手予定 ☆…R6年度以降の着手を検討
都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要 指標① がある区域を指定する割合 (市域における都市計画区域の割合)		単位	目指す方向	成 果 点		→	成 果 の要因分析	
指標② 農用地として保全し土地利用する割合 (市域における農用地区域の割合)	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標③ 森林として保全し土地利用する割合 (市域における森林区域の割合)	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標④ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑤ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑥ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑦ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑧ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑨ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑩ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑪ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑫ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑬ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑭ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑯ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑰ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑱ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標⑲ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標⑳ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉑ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉒ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉓ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉔ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉕ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉖ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉗ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉘ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉙ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉚ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉛ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉕ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉖ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉗ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉘ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉙ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉚ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉛ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉕ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉖ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉗ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉘ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉙ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉚ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉛ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉕ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉖ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉗ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉘ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉙ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉚ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉛ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉕ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉖ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉗ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問 題 点		問 題 の要因分析	
指標㉘ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	成 果 点		成 果 の要因分析	
指標㉙ 地域活性化のための取組みの実績評価	単位	目指す方向	%	→	問			

【小施策評価(令和4年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

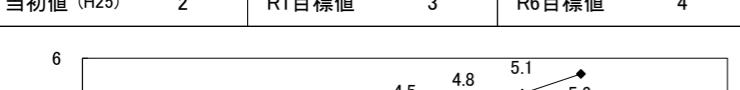
基本目標	2 盛岡の魅力あふれるまちづくり	小施策 主管課等	都市計画課
施策	16 計画的な土地利用の推進	評価 責任者 齋藤 剛	内線 7210
小施策	16-2 土地利用の管理・指導	評価 シート 作成者 佐藤 博	内線 7211

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
市街化区域内の未利用地の土地利用を進めるとともに、市街化調整区域における既存集落のコミュニティ維持や地域の活性化を図る必要がある。	良好な宅地水準を確保するとともに、都市計画に定める土地の利用目的に沿った開発行為が行われ、立地の適正性が確保されるように、管理・指導する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか／対象＋成功状態)
都市計画区域、農用地区域、森林区域	計画的に土地利用される。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和4年度実績)

実績値の推移				実績の評価				今後の方向性(令和5年度以降)	
指標① 都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合(市域における都市計画区域の割合)		単位	目指す方向	成 果 点		成 果 の 要 因 分 析		評価を踏まえた取組の方向性	
指標① 都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合(市域における都市計画区域の割合)	%	→		・市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用が図られた。		・開発及び建築行為における許可基準を周知し、申請前の窓口相談等において十分な指導を行っているため。		★☆1 より効率的な窓口対応を図るために、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。 ★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。	
当初値 (H25) 50	R1目標値 50	R6目標値 50		・審査基準の運用に関する相談への対応に時間を要している。		・社会情勢の変化及び生活様式の多様化に伴い、相談内容が複雑化している。 ・相談件数及び相談時間の予測が困難であること。		★☆1 より効率的な窓口対応を図るために、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。 ★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。	
指標② 農用地として保全し土地利用する割合(市域における農用地区域の割合)	%	→		・市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用が図られた。		・開発及び建築行為における許可基準を周知し、申請前の窓口相談等において十分な指導を行っているため。		★☆1 より効率的な窓口対応を図るために、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。 ★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。	
当初値 (H25) 8	R1目標値 8	R6目標値 8		・審査基準の運用に関する相談への対応に時間を要している。		・社会情勢の変化及び生活様式の多様化に伴い、相談内容が複雑化している。 ・相談件数及び相談時間の予測が困難であること。		★☆1 より効率的な窓口対応を図るために、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。 ★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。	
指標③ 森林として保全し土地利用する割合(市域における森林区域の割合)	%	→		・市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用が図られた。		・開発及び建築行為における許可基準を周知し、申請前の窓口相談等において十分な指導を行っているため。		★☆1 より効率的な窓口対応を図るために、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。 ★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。	
当初値 (H25) 73	R1目標値 73	R6目標値 73		・審査基準の運用に関する相談への対応に時間を要している。		・社会情勢の変化及び生活様式の多様化に伴い、相談内容が複雑化している。 ・相談件数及び相談時間の予測が困難であること。		★☆1 より効率的な窓口対応を図るために、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。 ★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。	

指標④ 市街化区域における土地利用促進割合(未利用地に対する開発許可面積の割合)	単位		目指す方向	成 果 点	➡	成果の要因分析
	%	↗				
当初値 (H25) 2	R1目標値 3	R6目標値 4				
・市街化区域及び市街化調整区域内の適正な土地利用が図られた。						・開発及び建築行為における許可基準を周知し、申請前の窓口相談等において十分な指導を行っているため。
						
問題点	➡	問題の要因分析				
・審査基準の運用に関する相談への対応に時間を使っている。						・社会情勢の変化及び生活様式の多様化に伴い、相談内容が複雑化している。 ・相談件数及び相談時間の予測が困難であること。

★☆1 より効率的な窓口対応を図るため、開発・建築相談の予約制を推進し、説明資料等の工夫を検討する。

★☆2 市街化調整区域における開発許可基準については、国の動向や他都市の事例、岩手県との協議等を参考に、地域の実情に応じた運用について継続して検討していく。